

小・中学校の適正規模に基づく学校再編に関する地域懇談会 記録

奥州市立小中学校適正規模等検討委員会

地区名	稲 瀬 地 区		
日 時	平成 29 年 11 月 16 日 (木) 18 : 30 ~ 20 : 00	会 場	稲瀬地区センター
出席者	事 務 局	教育長、教育部長、学校教育課長、学校教育課長補佐	
	検討委員	委員長 他 2 人	
	地域住民	1 5 人	
◆主な質疑内容			
(質問)		(回答)	
○江刺区は複式学級のある学校が多いが、再編が遅れた理由は何か。		○合併前は、子どもがこんなに減ることを想定していなかった。地理的条件の困難さもあり、地域に迎合してきたこともある。	
○照岡学区の方々は、適正規模等検討委員会のことを知っているのか。知らせる必要ないのか。3年前の稲瀬地区振興計画の立案時は照岡小のPTAも来た。照岡小のPTAの意見もはずせないのではないか。		○適正規模や学校再編についてのアンケートをとることも考えていきたい。地域の特異性も考えていきたい。 北上市立の学校であるので両市間の協議も必要である。	
○統合するとなると、10年くらいかかるのであれば、古い校舎に対するケアはどうなるのか。		○地域の要望を受け、再編を進めることも考えられる。耐震のほうは、必要に応じて進めていく。	
◆主な意見・要望の内容			
○小規模校、適正規模校のメリット・デメリットを地域に説明してどういう教育をしていくべきなのかを示してほしい。			
○子どもたちや先生方へのアンケートを取った方がよい。			
○子どもが増えない現状は変わらないが、地域の活性化は学校があるからこそである。学校がなくなれば地域も活性化しない。 小中一貫校や低学年の分校制なども考えてほしい。			
○数だけでは再編統合は考えられない。地域や子どもの声を大事にしながら、10年後20年後にどうなるかを考えてほしい。子どもたちが生き生きとした生活を送り、先生方の環境が整った状況にするためにはどうすればよいのか考えたい。			
○保護者の参加が少ない。現在の保護者が参加をするような懇談会にする工夫をしてほしい。			